

やまなし農業基本計画 成果指標の進捗状況

- I 農畜水産物のブランド価値の向上
 1 生産・流通・販売の三位一体の高度化
 (1) 高品質・安定生産による競争力の強化
 ア 果樹

No. 1

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
もも「夢みずき」の生産量	t	526	802	768	1,500
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高品質なもも「夢みずき」の出荷量を増加させるため、山梨県オリジナル品種ブランド化推進会議において、各産地の出荷状況及び品質の確認、栽培手引きの見直しなどを実施したが、「核割れ」などの生理障害の発生により、出荷量は前年よりも少ない768tとなった。 ・また、高温の影響を受けにくい新たなモモの品種「夢桃香」の苗木の供給及び生産が本格化しており、R6の「夢桃香」の出荷量は131t、夢みずきとの出荷量との合計は899tとなった。 					

No. 2

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
ぶどう「甲斐キング」の生産量	t	32	61	89	120
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「甲斐キング」の出荷量を増加させるため、山梨県オリジナル品種ブランド化推進会議において、各産地の出荷状況及び品質の確認、栽培手引きの見直し、摘粒に関する研修などを実施し、89tの出荷が行われた。 					

No. 3

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
ぶどう「サンシャインレッド」の生産量	t	0	4	26	100
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期産地化を目指して、苗木約4,000本を供給した。「サンシャインレッド」の出荷量を増加させるため、山梨県オリジナル品種ブランド化推進会議において、各産地の出荷状況及び品質の確認、栽培手引きの見直し、摘粒・着色に関する研修などを実施し、26tの出荷が行われた。 					

No. 4

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
優良品種への改植面積 (累計)	ha	184	36	75	200
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の改植事業 (果樹経営支援対策事業・果樹先導的取組支援事業) や県の改植事業 (すもも産地競争力強化支援事業補助金、もも産地競争力強化支援事業補助金) により、39ha分の優良品種への改植が実施された。 					

No. 5

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
醸造用「甲州」供給量	t	3,836	3,267	3,902	4,200
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・醸造用「甲州」の優良系統について、苗木の生産・供給を行うとともに、生産者が安定的に生産できるよう、ワイナリーとの長期取引契約の締結を促進した。また、苗木購入や棚の設置・改修に対する支援を行った。さらに、国際的なコンクールにおいて「甲州」ワインが最優秀賞を受賞したことをPRするなど、供給量の増加に向けた積極的な取組を実施した。 					

No. 6

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
赤ワイン用「ソワノワール」の苗木供給本数 (累計)	本	0	0	1,624	10,000
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内ワイナリーならびにワイナリーと契約栽培を行う生産者に対し、1,624本のソワノワール苗木を供給した。併せて、生産者が安定的に生産を継続できるよう、ワイナリーとの長期取引契約を促進するとともに、苗木購入や棚の設置・改修に対する支援を行った。 					

イ 野菜

No.7

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
主要野菜の生産額	百万円	6,422	6,775	6,742	6,422
<p><R6の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要野菜や地域特産野菜の生産力強化に向けた栽培実証等に取り組む農業者団体等への支援を実施 「やまなし野菜」産地強化事業：5生産者団体 ・県内の指定野菜産地に対する「産地強化計画」の策定支援（10月～R7年4月 5JA 8産地の計画を策定） ・JAグループ山梨や流通関係者と連携した野菜の日PR活動の実施（8月） ・施設野菜農業者等に対し省エネ・省力・生産性向上に資する機器の導入を支援（R5施設園芸等経営強化支援事業：28件） 					

ウ 水稻等

No.8

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
「にじのきらめき」栽培面積	ha	2	7	35	95
<p><R6の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田農家の所得安定を図るため、「にじのきらめき」の生産拡大に必要な機械整備等について事業採択。 ※活力ある水田農業支援事業費補助金の内数 2件（見込み） 事業費3,739千円（うち県補1,343千円） ・県主要農作物生産改善協会と連携し、県内で「にじのきらめき」の種子生産を開始（10a）。 ・県旅館ホテル生活衛生同業組合、JAグループと連携し、県内宿泊施設5箇所において新米キャンペーンを実施し、県産「にじのきらめき」とコシヒカリとの食べ比べの結果、コシヒカリと同等か「にじのきらめき」の方がおいしいと答えた人が7割以上を占めた。 ・県広報誌や県オウンドメディアに「にじのきらめき」PR記事を掲載し、品質の高さやおいしさを周知。 					

No.9

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
麦、大豆、加工用米、飼料用米等の作付面積	ha	368	357	357	396
<p><R6の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水田農家の所得安定を図るため、小麦、大豆、そば、加工用米の生産拡大に必要な機械整備等について事業採択した。 ※活力ある水田農業支援事業費補助金の内数 3件 事業費 19,896千円（県補6,029千円） ・水田農家の所得安定を図るため、小麦、大豆、そば、加工用米等に対する国の交付金の上乗せ助成を行った。 ※活力ある水田農業支援事業費補助金の内数3件、事業費29,792千円（県補14,896千円） ・「令和6年度山梨県水田収益力強化ビジョン」を策定、ビジョンに産地交付金の地域メニューを設定し、転換作物の生産拡大を支援。また、市町村協議会に対し地域水田収益力強化ビジョン策定支援を行い、24市町村でビジョンを策定。 ・実需者と生産団体との加工用米（酒造用かけ米）、麦の需給に関する打ち合わせの実施 					

エ 花き

No.10

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
ピラミッドアジサイ生産農家戸数	戸	7	8	6	12
<p><R6の取組実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者から評価を得られた‘26-8’を6月に品種登録出願し、11月に品種名「かいあかり」として出願公表された。 ・10月に、ほ場での株の様子と開花状況を生産者に見ていただくため、県花き園芸組合連合会及び富士北麓花き生産協議会を対象に‘26-8’栽培説明会を2回開催し、参加した14名の生産者の大半から栽培意向が示された。 ・被覆資材による高温障害の回避について現地検討を実施した。 					

オ 畜産

No.11

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
甲州牛生産頭数 (累計)	頭	1,927	580	1,146	2,100

< R6の取組実績 >

・畜産農家の労力軽減を図るため、県立ハヶ岳牧場での牛の放牧による飼養・繁殖管理を適正に行うとともに、優良な県有牛142頭を売却した。また、畜産酪農技術センターにおいて生産した和牛受精卵を102個売却するとともに、受精卵移植技術の活用を推進することで甲州牛の年間生産数の維持が図られた。

No.12

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
グラスフェッドビーフ生産農家数	戸	0	1	1	8

< R6の取組実績 >

放牧実証を踏まえたグラスフェッドビーフ生産マニュアルを作成するとともに、畜産農家巡回時に取り組み普及を図っている。

・巡回時説明 (1回)

カ 水産

No.13

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
「富士の介」の生産量	t	62	52	52	80

< R6の取組実績 >

・富士の介の養殖業者が養殖池の整備に要する経費を補助する事業と省エネ等に資する機器等の導入経費を補助する事業を予算計上した。(R6.2補)

・生産者会議の開催 (9月)

・中間種苗の試験供給 (11月 1,895尾)

キ 地域特産物

No.14

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
プレミアムティー開発数 (累計)	商品	2	4	4	4

< R6の取組実績 >

・リーフティーは、県のふるさと納税市町村支援事業を活用し、専門家からのアドバイスを受け、販売先のニーズに合わせた量やパッケージを検討し、商品開発を支援。

・美酒・美食の取り組みと連携し、県内外の高級レストラン等への売り込みや峡南地域の道の駅等での販売促進活動を支援したところ、レストラン2軒で取扱い開始。

・販売・輸出支援課所管の事業を利用し、日本ソムリエ協会山梨県支部のセミナーにて、ノンアルコールのペアリングとして2品種のプレミアムリーフティーを提供し、PR

・プレミアムリーフティーについて、南部町ふるさと納税返礼品へ登録

(2) 先進的技術の導入による生産性の向上

データ農業技術による生産性向上

No. 15, 16

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
シャインマスカット (施設)	t/10a	1.3	2.0	2.7	2.6
きゅうり (施設)	t/10a	16	44	58	50
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設シャインマスカットでは、環境制御システム、炭酸ガス施用、マルチドリップ灌水、有機質マルチなどの技術により、令和5年度試験の収穫（令和6年7月）で2.7t/10aを達成（目標2.6t/10a）。 施設キュウリでは、整枝・炭酸ガス低濃度施用・日射比例灌水等の技術により、目標収量を達成出来ることが明らかになったことから、高品質・多収栽培技術としてとりまとめを行った。 					

データ農業導入による品質の向上

No. 17, 18, 19

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
秀品率 もも (露地)	%	40	-	43	45
秀品率 すもも (露地)	%	60	-	69	65
秀品率 スイートコーン (トンネル)	%	70	-	68	75
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 露地ももについては、篤農家の技術を見える化するため、調査園（もも：優良園8、一般園2、すもも：優良園2）を設置し、優良園の圃場環境データの収集を開始。また、露地もも・すももについて、生育状況や栽培管理を把握するため、現地調査及び農家への聞き取り調査を実施。 もも樹の3Dスキャナによる立体画像作成及び、画像からの結果枝長の解析検討について委託。 スイートコーン（1重トンネル栽培）の篤農家技術を見える化するため、調査園3件を設置し、トンネル内外の温度データ、秀品率等の聞き取りを実施したが、3月下旬の凍霜害の影響により、平年に比べ篤農家及び産地全体の秀品率が低下した。 					

スマート農業技術の導入支援数 (累計)

No.20

成果指標	単位	現況値 (R2~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
スマート農業技術の導入支援数 (累計)	戸	155	64	110	200
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> やまなしスマート農業実装事業について、1次公募から3次公募まで実施。12月末までに自動除草ロボットなど3実施主体の機器導入を支援。 やまなし未来創造農業推進事業において、自動操舵システム、気象観測装置など16戸の機器導入を支援。 施設園芸等経営強化推進事業により、施設栽培の環境制御装置について13戸の導入を支援。 産地生産基盤パワーアップ事業により、施設果樹の自動換気装置について14戸の導入を支援。 現時点の導入支援数は46戸である。 					

(3) 農畜水産物等の高付加価値化の推進

No.21

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
4パーミル・イニシアチブ取り組み面積	ha	4,926	5,381	6,359	7,300
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証制度について、JA 梨北に対して積極的に働きかけ、「梨北米」の生産者約930haを新規に認証することが出来た。 ・ 生産者への4パーミル・イニシアチブの取組を普及・啓発するため、野菜・水稲について現地実証を行った。 (実証ほ：野菜 4箇所 (スイートコーン、有機野菜)、水稲 2箇所) ・ 中央日本四県連携のもと農業分野における温暖化対策を推進するため、各県担当者による意見交換及び現地検討会を実施した。(11月1日 長野県御代田町、上田市) ・ 実需者、メディア等向けツアー (県内) 2回 (テーマ：4パーミル・イニシアチブ) ・ 都市部の小売店での販売促進活動 20店舗 					

No. 22, 23

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
アニマルウェルフェアに取り組む農家数 (エフォート認証)	戸	9	13	15	50
アニマルウェルフェアに取り組む農家数 (アチーブメント認証)	戸	7	9	12	25
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>生産者を対象とした認証制度の研修会及びメディアや飲食店関係者等を対象にエシカル消費に関連する農畜産物等を一体的にプロモーションする産地見学会を開催し、やまなしアニマルウェルフェア認証制度の取り組みとその畜産物の理解醸成が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やまなしアニマルウェルフェア認証制度研修会 (2回) ・ 実需者、メディア等向けツアー (県内) 1回 (テーマ：アニマルウェルフェア) 					

No.24

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
ニホンジカの処理頭数 (累計)	頭	2,887	1,010	2,017	5,484
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>ジビエ処理・加工施設整備を支援し、供給量拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内最大規模のシカ肉処理施設が完成し、稼働を開始した。 ・ やまなしジビエの認証施設拡大に向けた取組 相談件数2件 (山梨市、道志村) ・ 「やまなしジビエフェア」の開催 (11/15~2/28)、各種イベントへの出展によるジビエPR3回 					

(4) 安全・安心で持続可能な農業の推進

No.25

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
有機農業の取り組み面積	ha	247	261	278	300
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の有機農産物の生産拡大を図るため、有機農業者が栽培技術を共有できる地域普及展示ほを設置した。 ・本年は年次変動による栽培状況の確認を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 有機農業地域普及実証ほ設置 (2箇所) 北杜市明野町 ニンジン 富士河口湖町勝山 レタス (夏まき) ・北杜市が取り組む国補事業 (みどりの食料システム戦略「有機農業産地づくり推進」) に対し支援した。 ・有機農業アカデミーの開催 1回【12月 対面による開催】 					

No.26

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
化学肥料由来の窒素使用量	kg/10a	5.20	5.07	5.22	5.00
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料及び化学合成農薬の使用を低減させる環境保全型農業の取り組みを進めるため、国補事業「環境保全型農業直接支払制度」を活用し、環境保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者団体等を支援中。 <ul style="list-style-type: none"> 11市町村 201.7ha (有機119.1ha、交信攪乱剤59.9ha、草生17.8haほか) 交付金額 15,032千円 (国 10,021千円+県 5,011千円) ・みどりの食料システム法に基づき、環境負荷低減事業活動に取り組む事業者を認定する制度である「みどり認定」の策定にあたって生産者を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> みどり認定者数 142名 ・化学肥料由来の窒素使用量及び化学合成農薬の使用成分回数について、その達成度を把握するため、肥料・農薬使用実態モニタリングを実施した。11品目、148戸 					

No.27

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
飼料用米の活用量	t	110	110	100	140
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内畜産農家での飼料用米の活用が可能となるよう需要調査を行うとともに、関係課と連携し飼料米の生産を推進した。 ・畜産農家と耕種農家のマッチング (1回) ・飼料用イネ種子販売の紹介・推進 (8回) 					

No.28

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
低魚粉飼料の導入業者数	業者	3	7	8	7
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・低魚粉飼料で高成長する系統のニジマス種苗について希望する養殖業者への出荷を実施 (1件)。 ・養殖業者から低魚粉飼料に関する問題点を引き続き収集すると共に低魚粉飼料に関する情報を提供。 ・低魚粉飼料の利用者8業者。 					

No.29

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
家畜伝染病監視のためのモニタリング検査数 (年間)	件	113	113	68	113
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・豚熱や高病原性鳥インフルエンザ等の重大な家畜伝染病の発生予察のため、養豚農家及び養鶏農家を対象としたモニタリング検査を11月末現在で68件実施し、豚熱ワクチン抗体保有状況及び鳥インフルエンザについては全て陰性を確認した。 					

No.30

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
特定家畜伝染病の防疫演習 (年間)	回	2	2	2	2
< R6の取組実績 > ・新たに国の指針で定められたアフリカ豚熱の防疫体制を構築するため、国と連携し机上演習を実施した。 ・また、県主催の防疫演習 (豚熱、高病原性鳥インフルエンザ) を2回実施した。					

No.31

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
飼養衛生管理基準の遵守のための立ち入り検査・指導 (年間)	回	2	2	2	2
< R6の取組実績 > 飼養衛生管理基準遵守の重要性の理解度向上のため、年2回の農家巡回を実施した。					

(5) 品質管理の徹底と効率的な流通体制の構築

No.32

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
果樹の共同選果施設 再編整備地区 (累計)	地区	1	1	2	2
< R6の取組実績 > ・「JA南アルプス市飯野共選所」において、耐震工事を行うとともに、光センサー選果機を入れ替えて機能を向上させた。また、笛吹市の農業法人がモモ選果場の整備を実施した。 ・これらの工事・建設費用に対して国補助金を活用して助成した。					

(6) 販路拡大と6次産業化の推進

No.33

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
サポートセンターの支援により商品の販売に至った事業者数 (累計)	事業者	14	2	5	16
< R6の取組実績 > ・6事業者に対し、延べ22回のプランナー派遣を行った。 ・サポートセンターの支援を受け、1事業者の商品が販売された。					

No.34

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
LFP推進事業により利活用した規格外農産物の商品開発数 (累計)	品目	0	0	0	3
< R6の取組実績 > ・事業者の掘り起こし及び情報収集を行った。 ・農山漁村発イノベーション推進会議において、意見交換を行った。 ・LFP後継事業の実施に向け、県内の農林水産事業者や食品製造事業者等を中心とした多様な事業者を対象に、規格外農産物等を活用した取組や地域連携の取組に対する理解を深めるため、シンポジウムを開催した。					

(7) 輸出の更なる拡大

No.35

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
県産果実の輸出額	億円	20.7	19.8	23.7	35.0
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>①新たな輸出先国の開拓</p> <p>○中国等との検疫条件の早期設定に向けた国等への要望活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム高級果実専門店のバイヤー招聘 (6月) ・継続的な国等への要望活動 (7月) ・ベトナムへ渡航し、商流構築に向けた現地事業者との面談を実施 (7月) ・農林水産省の青果物の輸出環境課題に対する要望調査で、継続的に要望 (10月) ・ベトナム向けブドウのリスク管理措置の協議に向けた試験協力 (果樹試験場) <p>○輸出品目拡大に向けた市場調査と中長期的な戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸出戦略検討委員への意見聴取 2回 (7~8月、10月) ・輸出戦略 (牛肉・魚・米) の策定 (10月) ・富士の介の海外販路拡大に向けたプロモーション支援 (11月~) <p>②輸出促進に向けた新たな体制づくり</p> <p>○品質管理を徹底した流通体制づくりへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA等と連携したシャインマスカットの房選果機の検討 (果樹・6次産業振興課) ・ロス率の低減を考慮したこん包方法の検討 (6月~) 					

2 戦略的ブランドプロモーションの展開

(1) 効果的なプロモーションの推進

No.35

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
【再掲】県産果実の輸出額	億円	20.7	19.8	23.7	35.0
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>①アジア地域を中心としたプロモーション活動の実施</p> <p>○SNS等を活用したデジタルプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9カ国・地域 (香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア、UAE、インドネシア、中国、ベトナム) に向けた県公式SNSを運用、週1回程度投稿 <p>○小売店舗等でのリアルプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5カ国・地域 (香港、台湾、シンガポール、タイ、マレーシア) の現地小売店等での販売促進活動を18回実施 ・現地小売店等での販売促進活動の情報を、県公式SNSで発信 (随時) 					

No.36

成果指標	単位	現況値 (R3~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
県産農畜水産ブランド関連サイト・動画のアクセス・再生数 (累計)	件	100,946	630,573	731,219	800,000
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>②国内へのプロモーション活動の実施</p> <p>○国内主要市場における情報収集と産地へのフィードバック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションセンターによる市場流通状況の情報収集及び提供 <p>○県産農畜水産物の販売促進に向けた効果的なプロモーションの実施</p> <p>ア ジビエ (エシカル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やまなしジビエフェア」の開催 (11/15~2/28)、各種イベントへの出展によるジビエPR 3回 <p>イ 富士の介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際見本市「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」出展 (8/21~23) ・高級料亭等への販路拡大の取り組みへの補助 3社 <p>ウ おいしい未来、4パーミル (エシカル)、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実需者へ、メディア等向けツアー (県内) 3回 ・WEB雑誌への掲載 3回 ・生産者紹介記事作成 5本 ・サンシャインレッド特設サイトの設置 1サイト ・都市部の小売店での販売促進活動 20店舗 <p>○生産者団体等と連携した実需者へのトップセールスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップセールス 2回 東京 (モモ7/9) 京都 (ブドウ8/23) <p>○生産者団体等による販売促進活動への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県農畜産物販売強化対策協議会の実施する販促活動を支援 					

(2) 「やまなし」ブランドの確立

No.36

成果指標	単位	現況値 (R3~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
【再掲】県産農畜水産ブランド関連サイト・動画のアクセス・再生数(累計)	件	100,946	630,573	731,219	800,000
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>①県産農畜水産物等のブランド力強化の推進</p> <p>○「おいしい未来へ やまなし」によるブランド価値の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEB雑誌への掲載 3回 (再掲) ・生産者紹介記事作成 5本 (再掲) ・サンシャインレッド特設サイトの設置 1サイト (再掲) ・都市部の高級小売店での販売促進活動 20店舗 (再掲) <p>○スーパープレミアムブランドの育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品の情報発信 <p>○4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェア等(エシカル)の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実需者・メディア等向けツアー(県内) 3回 (再掲) ・WEB雑誌への掲載 2回 (一部再掲) ・生産者紹介記事作成 4本 (一部再掲) ・都市部の小売店での販売促進活動 20店舗 (再掲) <p>②美酒・美食を通じたブランド力強化の推進</p> <p>○「富士の介」、「やまなしジビエ」等のプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士の介を「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」でPR(8/21~23) (再掲) ・「やまなしジビエフェア」の開催(11/15~2/28)、各種イベントへの出展によるジビエPR3回 (再掲) <p>○飲食店等と生産者のマッチング支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光文化・スポーツ部と連携し、グルマン会議における飲食店向け商談会 2回(9/4、2/25) ・飲食店等のニーズに応じた県産食材のサンプル提供132件、うち取引開始26件 					

3 明日の農業・農村を担う人財づくり

(1) 新規就農者の確保・定着

No.37

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
新規就農者数(累計)	人	1,273	344	685	1,400
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>①就農支援サポート体制強化の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなし就農ライフサポート事業による本県農業の魅力発信や交流イベントの開催 特設サイトの設置、オンライン就農座談会開催 2回(6月、9月) 参加者計154名 バスツアーの実施 2回(7月、10月) 参加者計36名 農業体験の実施 参加者17名 ・就農支援センターへ就農支援マネージャー2名を配置し、就農相談のワンストップサービスの提供 就農相談会の実施 【県内】2回 【県外】3回 【オンライン】3回 ・シニア世代就農促進事業による農業技術研修の実施 4コース のべ21名受講 <p>②就農定着に向けた支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまなしアグリゼミナールの実施 研修生35名(9名新規、26名継続) ・国の新規就農者育成総合対策の活用による就農支援の実施 就農準備資金 18名(新規12名、継続6名) 経営開始資金(経営開始型) 94名(新規22名、継続72名) 経営発展支援事業 4名 ・親元就農者経営安定支援事業による親元就農促進支援 13名 ・新規就農アシスト事業による機械整備等への支援 6名 ・新たな農業継承システムの構築に向けた協議会設立支援 					

No.38

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
うち畜産の新規就農者数(累計)	人	52	8	24	52
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>本県での農業に興味ある者に対し、畜産経営の選択肢があることをアピールする機会を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就農希望者への効果的な情報発信 オンライン就農座談会(畜産)開催 1回(9月) 					

No.39

成果指標	単位	現況値 (R1~4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
企業の農業参入数(累計)	社	41	12	25	50
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の農業参入を推進するため、企業の農業参入セミナーの開催や国が行う企業の農業参入フェアに出展するとともに、農業参入を検討している企業の相談や企業の個別訪問を実施し、相談に応じた農地の確保、圃場整備・経営プランの作成支援等を行った。 <p>○企業の農業参入の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問の実施 60社(県内31社 県外企業29社 うち新規訪問32社) 					

(2) 多様な担い手の育成

No.40

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
女性リーダーの育成数 (累計)	人	-	4	12	16
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業女子キャリアアップ研修会の開催 将来的な女性リーダーを育成するため、経営多角化の取り組みや気象と持続可能な農業などの研修会を5回開催した。 第1回 気象特性と農業に与える影響について(11月29日 参加人数15人) 第2回 農業女子のためのライフプラン&資産形成について(12月23日 参加人数7人) 第3回 農業機械の使い方・メンテナンスについて(1月20日 参加人数15人) 第4回 女性農業者 取組事例紹介(1月31日 参加人数7人)、第5回 4パーミルイニシアチブについて(2月14日 参加人数10人) ・女性農業者グループの活動支援 県内の主たる女性グループである山梨県生活研究グループ連絡協議会、山梨きら星ネット、JA南アルプス市女性部フレッシュミズ、やまなし農業女子の4グループに対して、県外先進地視察研修、加工品開発や販路開拓、マルシェ開催などの活動支援を行った。 ・関東ブロック農村女性交流交換会の開催 県外の先進的な女性農業者と交流を図ることにより、女性の経営参画や起業活動などに理解を深めるため、関東農政局との共同開催により農村女性交流交換会を11月14~15日に開催し計90人が参加した。 ・さらに、女性の指導農業者を育成するため、全国的な先進グループとの交流会の開催支援を行った。 					

No.41

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
農家等と福祉施設のマッチング件数 (累計)	件	244	300	353	364
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業者の労働力確保、障害者の就労支援及び工賃向上のため、農業者と障害者支援施設とのマッチング支援を行った結果、53件の新規マッチングが成立した。 ○農福連携商品の認知度向上と福祉施設の農産物加工商品の開発を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・農福マルシェの開催 12回 ・アドバイザー派遣による加工品開発支援(4福祉施設) 					

4 農村地域の保全と基盤整備

(1) 担い手への農地の継承と集積・集約化の推進

No. 42, 43

①地域計画の策定による担い手への農地の継承と集積等の推進

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
農地集積率	%	47.0	48.1	49.7	55.0
荒廃農地解消面積 (累計)	ha	3,068	3,267	3,382	3,900
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村や農業委員会への助成の他、研修会開催、農業会議と連携した目標地図作成支援等を行い、195地区で地域計画が策定された。 ・農地集積を推進するため、農地中間管理機構を活用して、担い手への農地集積に取り組む地域に対し機構集積協力金を交付したことにより、集積率の向上が図られた。(1町) 					

②荒廃農地の発生防止と再生・活用の推進

<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨市をはじめ8市町において機構借受農地整備事業の実施、韮崎市、中央市、甲州市、山梨市において企業的農業経営推進支援モデル事業を活用し、荒廃農地の解消が図られた。 ・農地利用の集積・集約化を図るため、農地中間管理機構を活用した農地の貸借を推進するとともに、R7年4月からの改正基盤強化法の本格施行に備え、円滑な移行に向けた市町村巡回説明を実施した。 					
---	--	--	--	--	--

(2) 産地の競争力強化に向けた基盤整備の推進

No.44

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
果樹産地等における基盤整備面積 (累計)	ha	4,702	4,803	4,903	5,100
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹園地等の再編整備を進めるため、畑地帯総合整備事業等により農地の集積・集約化、農作業の省力化・効率化に向けた受益100haの基盤整備を実施し、生産性の向上や農業経営の安定化が図られた。 					

(3) 農村地域の保全・活性化

No.45

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
県内農泊の宿泊者数 (年間)	人	10,048	12,416	13,300	13,440
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>○農泊等による農業体験機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村体験によるストレスケア効果周知や過去の事例紹介のため、ストレスケアセミナーを開催 (7/9、1回) <p>○リフレッシュプログラムの開発支援及びモデルツアーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム作成セミナーの開催 (3回) ・プログラム磨き上げ (10月、4プログラム) ・4モデルツアーの実施 (北杜市11/22~23、富士河口湖町12/3~4、山梨市12/7~8、中央市12/10~11) 					

No.46

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
多面的機能の保安全管理に取り組む面積	ha	7,508	7,518	7,518	7,600
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>○農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、多面的機能支払交付金及び中山間地域等直接支払交付金を活用し、次の取り組みへの支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農道・水路等の地域資源の適切な保安全管理 ・活動組織、集落協定の共同活動 <p>○活動組織・集落協定の事務負担軽減について、北杜市と市農業振興公社、県土地改良事業団体連合会と検討し、活動組織等の申し出により市公社が事務受託する方向となった。</p> <p>○集落・活動組織の広域化に向けて、北杜市・市農業振興公社・県土連と広域エリアの検討を行った。</p>					

No.47

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
獣害防止柵の整備による農業被害防止面積 (累計)	ha	4,882	4,922	4,992	5,280
<p>< R6の取組実績 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害を軽減するために獣害防止柵の整備を概ね予定通り進めており、新たに70haの農地で被害の軽減が図られた。 					

No.48

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	R8目標値
野生鳥獣による農作物被害金額 (年間)	百万円	140	139	129	123
<p>< R6の取組実績 ></p> <p>○鳥獣被害防止総合対策事業により、地域ぐるみの被害防止活動を支援するとともに、簡易電気柵展示圃の設置などを進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害防止総合支援対策事業 19市町村協議会 ・簡易電気柵実証圃 4箇所設置 ・鳥獣被害対策専門員 3名委嘱 ・指導員研修の実施 (10月15日開催、出席者42名) <p>○シカによる農作物被害を減少させるため、生息状況調査や捕獲活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急捕獲事業 JR中央線沿線11市または市協議会への支援 <p>○カワウやサギ類の食害対策技術等を開発・普及するとともに、漁業協同組合が行うカワウの被害軽減対策の取り組みを支援した結果、営巣地におけるカワウ個体数の抑制が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛来状況調査 (県下10定点) ・コロニーにおける生息数、繁殖状況調査 ・高部コロニーでの個体数管理 (アーボリストによるドライアイス等での卵への処理 繁殖抑制率約70%) ・漁協が行う繁殖抑制や追い払いの取り組みへの支援 (11漁協) <p>○外来魚の効率的な駆除及び駆除技術の開発に取り組むとともに、実態調査や啓発活動等を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コクチバス (琴川ダム) 駆除を実施 (ライトトラップ設置、刺網駆除13回・潜水駆除16回、47尾) ・レイクトラウト (本栖湖) 駆除に向けてレイクトラウトへ発信器の挿入及び本栖湖へ受信機を設置。 ・レイクトラウトの駆除のため、外来生物防除事業費補助金 (自然共生推進課) を活用したほか、富士河口湖町でふるさと納税によるクラウドファンディングを開始。 					

5 防災・減災対策による農村の強靱化

No.49

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
耐震対策済の農業用ため池数 (累計)	箇所	53	62	66	73

< R 6 の取組実績 >
 ・大規模地震による被害を未然に防止するため、耐震性が不足する防災重点農業用ため池4箇所の耐震対策を実施し、農村地域の強靱化を推進した。

No.50

成果指標	単位	現況値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R5~R6)	R8目標値 (R5~8)
農業用水利施設等の整備済箇所数 (累計)	箇所	41	44	47	53

< R 6 の取組実績 >
 ・集中豪雨等による自然災害を未然に防止するため、洪水被害や土砂災害等を防止する農業用水利施設3箇所を整備し、農村地域の強靱化を推進した。